

# 令和3年10月教育委員会定例会会議録

## 1 開会及び閉会に関する事項

- (1) 開催日時 令和3年10月25日(月)午後1時30分
- (2) 場 所 松田町役場4階 4A会議室
- (3) 開会時間 午後1時24分
- (4) 閉会時間 午後4時28分

## 2 出席及び欠席委員の氏名

- (1) 出席委員 浄泉和幸教育長 石川純一教育長職務代理者、宮田恭子委員、橋本整和委員、山岸香穂里委員
- (2) 欠席委員 なし

## 3 傍聴人

なし

## 4 委員及び傍聴人を除き会議場に出席した者の氏名

遠藤洋一課長、安池正樹学校教育係長、小野敏紀施設管理係長、遠藤雅典生涯学習係長、土屋盾二指導主事

## 5 会議録の確認

- (1) 9月教育委員会定例会会議録の承認

浄泉教育長：会議録を承認することによろしいか。

委員：全員了承

## 6 教育長の報告事項の要旨

浄泉教育長：「教育長の行政報告」の資料に基づき説明

## 7 議題及び議事の要旨

議事事項 日程1 議案第12号 松田町教育委員会表彰について

遠藤課長：「松田町教育委員会表彰について」の資料に基づき説明

提案理由は、学校教育及び社会教育の振興と発展に貢献された方々に、松田町教育委員会表彰規則に基づき表彰を行うため。

今年度については、松田町教育委員会表彰規則第2条第1項第4号（その他教育委員会が表彰に値すると認めたる者）に該当すると思われる1名を諮るものである。

対象者は、神奈川県高等学校春季ソフトボール大会兼関東予選会に出場し、同大会で準優勝し、関東大会へ進出を果たした。

また、第76回国民体育大会ソフトボール競技少年男子神奈川予選会に神奈川県代表選手として出場し、準優勝であった。

以上の実績から、松田町教育委員会表彰対象者として推薦する。

浄泉教育長：意見がなければ、議案第12号は承認でよろしいか。

委員：全員承認

## 8 その他事項

- (1) 松田小学校校舎建設事業について

小野係長：現在の進捗状況について説明する。次月までに外装工事が概ね完了し、内

装及び外構工事が始まる。令和3年11月11日（木）に神奈川県森林協会を対象とし、午前・午後の2部構成で施設見学会を行う。この見学会には約90名が出席予定である。

浄泉教育長：特に意見がなければその他事項（1）については、よろしいか。

委員：全員了承

(2) 令和4年度教育関係予算要望

安池係長：「令和4年度教育関係予算要望（案）について」の資料に基づき説明  
教育委員会9月定例会で素案をお示しし、大まかに議論を行った。今回は、細かい文言や要望内容を確定し、町長へ要望書として提出したい。

前回からの指摘箇所を修正した内容を資料として反映させたものである。内容について簡単に説明する。

要望1、3、4、6、7、8、9、10については、前回の定例会で意見等はなかった。

要望2（2ページ）の松田小学校特別支援学級の人数については、「前年比1名減」という表記ではあるが、絶対必要であることを伝えるために、表記方法を見直すこととした。

要望5（3ページ）の寄小屋内運動場に関する要望の取扱いについて検討すること。

要望5（4ページ）の松田幼稚園に関する要望については、現在2台で稼働しているという文言の前に「幼稚園バスは」を追加した。

この場で再度意見や修正箇所等あれば発言をお願いしたい。

宮田委員：松田小学校特別支援学級の介助員数については、児童が減るからと言って減らすべきものではない。全体としての介助量は減らないということをアピールすれば良い。

山岸委員：「通常の学級においても特別な支援を必要とする児童や生徒が増えてきており」という文章を文末に書けば良いと思う。特別支援学級全体として、現在の介助人員は必要不可欠であり、更に通常の学級に在籍している児童でも学習支援を必要としているのが現状である。

遠藤課長：文書の順番を入れ替えるなど、要望の主旨を変えないよう修正する。

石川教育長職務代理者：幼稚園バスについて、先月の定例会で「送迎バス」に修正するという意見があったと認識している。

安池係長：「幼稚園バス」で認識している。

遠藤課長：各学校の学習支援員及び介助員の人数について、任用している延べ人数で表記しており、誤解される可能性があるため、1日あたりの実人数で表記を変更したい。

浄泉教育長：ご意見いただいた箇所について修正し、令和3年10月27日（水）に石川教育長職務代理者と遠藤課長とともに町長へ要望書を提出する。

浄泉教育長：他に意見がなければその他事項（2）については、よろしいか。

委員：全員了承

(3) 寄幼稚園・寄小学校のあり方について

遠藤課長：「寄幼稚園・寄小学校のあり方について」の資料に基づき説明

「令和3年度『幼児教育及び学校教育についてのアンケート調査』結果分析と考察」  
「幼稚園・保育園、小学校、中学校、全体のアンケート結果」を教育委員へ事前に配付

した。結果については、全 699 世帯のうち 175 世帯（回答率 25.04%）から回答があった。各学校でまちコミメールを活用して回答周知をお願いした。また、保育園では玄関など人通りの多い箇所に回答について協力していただくよう周知を行ったが、回答率はあまり伸びなかった。

このアンケート結果を基に、町教育委員会として結果分析と考察を行った。教育委員からもご意見をいただきたい。

石川教育長職務代理者：全体的に 6 割から 7 割くらい肯定的な意見であると思った。特にコロナ対策については、教育委員会と各学校（園）は良く対応していた。オンライン学習については、今後も推進する必要があると同時に対面授業も併せて必要である。

給食については、自校給食を望む意見が多かった。統合については、統合したいという思いと統合しなくて良いという意見は半々であった。学区の撤廃ではないが、試行期間として松田地区と寄地区の児童・生徒が行き来できる体制を設けても良いのではと思った。

遠藤課長：このアンケートは 4 件法で実施したが、「やや思う」という選択肢に偏る傾向が見られた。統合については、寄地区の保護者の意見を尊重し、「ややそう思う」または「そう思わない」といった意見が多かった。自由意見では「特認校に進めた方が良いと思う」という意見もあった。

宮田委員：教育活動については、子どもが家に帰ってきて、ポジティブに発言する部分は評価が高く、ネガティブに発言する部分に対しては、親としても疑問に思うことがある。インクルーシブとか SDG s など、文言をその内容について保護者（特にお母さん方）はわかりにくいという意見を聞く。実際に係りがないと分かりにくい言葉ではある。言葉が独り歩きするのではなく、子ども・親・学校・行政が向き合っていけば良いと思った。

オンライン学習については、対面授業も併せて必要である。教材として利便性は良い。

例えば、月の動きを 2 週間観察し、ソフトに取込めば、月の動きが分かりやすく表現されて便利であると感じた。ただし、便利でありながら、同時に危険性も伴うことも知っておくべきである。

給食については、保護者としては温かい給食の提供を望んでおり、アンケート結果についても同じ意見であったことに對し安心した。

統合については、寄地区の方々には真剣に考えていられることが感じられた。寄地区のお母さんから話を聞くと、「統合するでしょ」と思っている方もいることは事実であるが、アンケートを見る限り、実際に統合は望まないことが分かる。自由意見を拝見すると、更に真剣に答えていることが分かる。授業カリキュラムについて、松田地区の児童が寄地区へ行くことが難しく、寄地区の児童が松田地区へ行くことが殆どである。松田地区の児童が寄地区へ行くべきであり、寄で過ごす時間を松田地区の児童が実施できることが大切であると思う。学校行事（運動会・修学旅行・宿泊学習など）についても、松田小学校と寄小学校が合同で実施できれば良いと思う。

橋本委員：アンケートの数値として、全体的に現状に満足しているということがわかる。寄地区の子どもたちは、自分と先生が直接繋がっており、近い存在であることが伺える。松田地区の保護者もあり方について関心を持っていることが伝わる。

オンライン学習については、今後も推進する必要があると同時に対面授業も併せて必要である。一つ的手段として使用しつつ、先生方が力量を磨いて、対面方式での授業を実践することも大切だと思う。このアンケートの主題である寄地区を中心とした保護者の考え方を尊重することについては、時期早尚であることがわかる。結果分析と考察にある「幼稚園、小学校の統合については、町民、特に寄地区の方のご意見を尊重し、慎重に検討を進めていく必要がある。」とあるが、検討を進めることではなく、「今後の幼稚園、小中学校のあり方の検討に活かせるとよい。」という書き方に留めておけば良いと思う。

特任校については、寄地区は交通手段の問題はあるが、少数意見として挙げられたこともあり、実施できれば良いかと思う。実施できなければ、各学校同士で交流を深めるカリキュラムを実施すれば良いと思う。

遠藤課長：現状の交流授業については、寄小学校から松田小学校へ児童が下りてきて、年1回実施している。また、授業の進度が異なり、頻繁に実施することは厳しいと聞いている。

橋本委員：実際は限られた時間数の中で授業を行っているため、厳しいことは承知している。

山岸委員：教育活動については、インクルーシブとかSDGsなどわかりにくい言葉である。最近ユニバーサルデザインという言葉も多用しており、わかりやすい日本語で、気持ちよく使える言葉を使用すべきであり、保護者にこのようなことを目指していることを理解してもらえそうな言葉にすることが大切であると思う。

新型コロナウイルス感染症拡大防止については、以前は小学校の廊下に多くの絵が貼ってあったが、換気をするために絵を敢えて貼っていないのかと思った。新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組が適切であると高い評価を得ていることから、先生に対する保護者の真の評価であると思った。

オンライン学習については、意見が賛否両論であった。もっとオンライン学習ができると思うといった可能性への期待も保護者の意見から感じられた。

統合については、寄地区にお住まいの方に聞いた話しとして、保護者は統合を望んでいるが、地域の方は存続が望ましいと考えていることを聞いた。アンケート結果について、半数くらいの方々が存続を望んでいることから、思っていた結果と異なっていたため認識を改めた。存続したいといった意見を持つ方々の意見を聞くことが大事であると感じた。当初は統合になってしまうのかと思っていたが、これから話し合いや意見を聞く機会を設けることが必要であると感じた。

浄泉教育長：町のホームページで協力への感謝とお礼を申し上げ、公表内容については調整中である。本日も意見を伺った上で、言い回しや内容相違など表現方法について確認をした。内容が確定したら町長及び町議会へ説明し、町ホームページへ掲載する。

宮田委員：自由意見についてご意見を書かれた保護者の方々は、回答方法について気になると思う。

山岸委員：新型コロナウイルス感染症拡大防止について、「高い評価を得ている」が2箇所ある。また、「情報開示が欲しかった」という意見が複数あった。

石川教育長職務代理者：言葉や意味自体が理解されにくい問題について、「大人も子ども

もも理解を深めながら推進を図る必要がある。」ではなく、分かりやすい言葉でお置き換えた方が理解してもらえらると思う。

また、「教育活動について」のオンライン学習に関する記述について、対面方式も大事であることを一文追加してみてはどうか。オンラインと対面授業を併用した授業を推進することが明確に表現できると思う。

浄泉教育長：「情報提供については、十分配慮しながら、提供していく必要がある」といった言い回しを含め、どのような文言が適切であるか事務局で検討する。

以上の意見を踏まえ、修正かつ内容が確定したら町長及び町議会へ説明する。

浄泉教育長：他に意見がなければその他事項 (3) については、よろしいか。

委員：全員了承

(4) 松田町チャレンジデー2021 について

遠藤係長：「松田町チャレンジデー2021 について」の資料に基づき説明

令和3年10月27日(水)に開催し、今年度はオープン参加(対戦なし)で実施する。各自15分以上の運動を行い、「ボッチャ」「ストラックアウト」「ボルダリング」「筋トレ」等を実施する予定である。報告方法についてはライン(SNSアプリ)を用いて各個人が報告する。各方面へ周知をお願いしたい。

浄泉教育長：特に意見がなければその他事項(4)については、よろしいか。

委員：全員了承

(5) 寺子屋まつだについて

①ハロウィンクッキングについて

遠藤係長：「寺子屋まつだ『ハロウィンクッキング』について」の資料に基づき説明

令和3年10月30日(土)に第1部として小学校1年生以上を対象とした「ハロウィンプリン」、第2部として小学校3年生以上を対象とした「ハロウィンパフェ」を開催する。

②図書館ハロウィンイベントについて

遠藤係長：「図書館ハロウィンイベントについて」の資料に基づき説明

令和3年10月30日(土)・31日(日)の2日間に、図書館の活性化を推進する目的として図書館ハロウィンイベントを実施する。多くの子どもたちが参加することで、図書館に触れあう機会を多く持ってもらいたい。

浄泉教育長：特に意見がなければその他事項(5)については、よろしいか。

委員：全員了承

(6) ふるさと体験参加者募集について

遠藤係長：「ふるさと体験参加者募集について」の資料に基づき説明

令和3年11月27日(土)に青少年指導員が中心となって、小学校5年生から6年生を対象としたふるさと体験イベントを実施する。

内容は、寄自然休養村マス釣り場で「マス釣り」「竹細工(竹串づくり)」「火おこし」を実施する。松田地区の子どもが寄地区を訪れる機会が少なく、寄の魅力的な自然環境を体感できることから、特に松田地区の子どもが積極的に参加してほしい。

浄泉教育長：特に意見がなければその他事項(6)については、よろしいか。

委員：全員了承

(7) 11月のジュニアリーダーズスクールについて

遠藤係長：「11月のジュニアリーダーズスクールについて」の資料に基づき説明

令和3年11月7日（日）に小学校4年生から6年生を対象としたジュニアリーダーズスクールを開催する。

内容は、学校から松田町をとおして世界を考える「SDGs学習会」「伝承教室」「新聞づくり」等を実施する。

令和3年11月14日（日）に「丹沢大山クリーンキャンペーン～自然環境の保持・環境美化～」実施し、寄の中津川周辺でゴミ拾いを行う。

令和3年11月28日（日）に「SDGs朝市～食品ロスをなくす・つくる責任つかう責任～」を実施する。松田地産地消の会の協力を得ながら、廃棄になりそうな野菜や食品、不要になった衣類やおもちゃなどを青空広場で販売する。

また、伝承教室（大名行列）については、まつだ観光まつりが中止となったことから披露できなかったが、練習の成果を発表できる場として、令和4年1月5日（水）に開催する賀詞交歓会で披露することになった。

浄泉教育長：特に意見がなければその他事項（7）については、よろしいか。

委員：全員了承

(8) 令和2年度神奈川県児童・生徒の問題行動・不登校等調査について

土屋指導主事：「令和2年度神奈川県児童・生徒の問題行動・不登校等調査について」の資料に基づき説明

県内公立学校において、暴力行為の発生件数及びいじめの認知件数は昨年度より減少した。小学校において、暴力行為を繰り返す児童の人数やその件数が減少したためである。いじめについては、いじめの解消に向けた継続的・組織的な取組が定着したことにより減少した。

長期欠席者については、新型コロナウイルスの感染回避を含めると昨年度より増加した。児童・生徒の学習機会を確保するため、ICT等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いとするなど、積極的に評価していくことが必要であり、将来の社会的自立に向けて支援することも重要である。

浄泉教育長：特に意見がなければその他事項（8）については、よろしいか。

委員：全員了承

(9) 令和3年度足柄上郡町村教育委員会協議会教育委員研修会の中止について

安池係長：毎年11月に足柄上郡町村教育委員会協議会教育委員研修会を開催しているが、毎年度実施している教育委員研修は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点により、開催を中止するとの連絡があったので報告する。

浄泉教育長：特に意見がなければその他事項（9）については、よろしいか。

委員：全員了承

(10) 寄小学校学校公開について

安池係長：令和3年11月20日（土）に寄小学校にて授業風景等を見ることができる学校公開日である。午後から芸術鑑賞会（人形劇）を予定しており、時間があれば参観していただきたい。

浄泉教育長：特に意見がなければその他事項（10）については、よろしいか。

委員：全員了承

(11) 令和3年10月1日現在の児童・生徒・園児数等について

安池係長：「令和3年10月1日現在の児童・生徒・園児数等について」の資料に基づき説明

浄泉教育長：意見がなければその他事項(11)については、確認を行ったということによろしいか。

委員：全員了承

9 議事となった発議、討論等の内容及び発議者の氏名 なし

10 議決事項

(1) 議案第12号 松田町教育委員会表彰について

11 その他委員又は会議において必要と認めた事項

(1) 今回の会議録署名人の指名

橋本委員、山岸委員

(2) 今後の会議の予定

定例会 令和3年11月22日(月)午前9時00分 松田町役場4階4B会議室

令和3年11月22日

会議録署名人

委員 橋本整和

委員 山岸香穂里

会議録調整事務局職員

教育課学校教育係長 安池正樹